NEC Express5800 シリーズ

Global Array Manager **自動クリーンアップツール** Windows Server 2003 **サポートキット**

インストレーションガイド

商標について

Microsoft、Windows、Windows NT は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。 Global Array Manager は米国 LSI Logic の登録商標です。 記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2003 は MicrosoftR WindowsR Server 2003, Standard Edition および MicrosoftR WindowsR Server 2003, Enterprise Edition、MicrosoftR WindowsR Server 2003, Datacenter Editionの略称です。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

Q)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

(3)NEC の許可なく複製 改変などを行うことはできません。

cNEC Corporation 2003

1.インストールの前に	3
2.インストール (Express5800/100 シリーズ編)	4
3.インストール(Express5800/BladeServer シリーズ編)	5
3.1.コンソールを使用したインストール	6
3.2.ターミナルサービスを使用したインストール	7
3.3.SystemGlobe DeploymentManager(Lite)を使用したインストール	8
3.3.1. SystemGlobe DeploymentManager を用いたインストール	9
3.3.2. SystemGlobe DeploymentManager Lite を用いたインストール	10
3.3.3.シナリオの作成	10

1.インストールの前に

Global Array Mnager および、自動クリーンアップツールインストール前に、下記の各マニュアルをダウンロードしてください。

Global Array Manager の機能に関しては、Windows server 2003 サポートキット内の以下のファイルをダウンロードし、参照してください。

Express5800 シリーズ Global Array Manager Ver.4.00/5.00 オペレーションマニュアル(GAM500_J.PDF)』

Global Array Manager の詳細なインストール、アンインストール手順に関しては、Windows server 2003 サポートキット内の 以下のファイルをダウンロードし、参照してください。

Express5800 シリーズ Global Array Manager Ver.5.00 インストレーション マニュアル(GAMW2K3.PDF)』

自動クリーンアップツールの機能および、詳細なインストール、アンインストール手順に関しては、Windows server 2003 サポートキット内の自動クリーンアップツールのインストールイメージをダウンロート解凍し、以下を参照してください。 README.TXT』

上記マニュアル類は以下からダウンロード可能です。

Express5800/100 シリーズでの Windows Server 2003 対応モジュールのダウンロード Express5800 Windows Server 2003 ザポートキット」(http://www.express.nec.co.jp/w2003/index.html)

Rack Model Express5800/110Rd-1 または、・BladeServer 各種

Global Array Manager 一覧, 自動クリーンアップツール 詳細





ディスクアレイコントローラ用のドライバはWindows server 2003 サポートキット内の Window Server 2003 用ドライバをダウンロードして使用してください。

2.インストール手順(Express5800/100シリーズ編)

Express5800/100 シリーズへの Global Array Manager (Windows Server 2003 サポートキット版)の詳細なインストール、アンインストール手順に関しては、以下を参照して*付*ざさい。

Express5800 シリーズ Global Array Manager Ver.5.00 インストレーション マニュアル(GAMW2K3.PDF)』

Express5800/100 シリーズへの自動クリーンアップツール (Windows Server 2003 サポートキット版)の機能および、詳細なインストール、アンインストール手順に関しては、Windows server 2003 サポートキット内の自動クリーンアップツールのインストールイメージをダウンロート解凍し、以下を参照してください。

README.TXT

3.インストール手順(Express5800/BladeServerシリーズ編)

Express5800/BladeServer シリーズ(以降、BladeServer)へN8403-004 に関連するソフトウェアをインストールする手順を説明します。

BladeServer へのソフトウェアのインストールは、システム環境により異なります。 以下のフローチャートを参照して、該当するインストール方法を決定してください。



3.1.コンソールを使用したインストール

N8403-004 を実装する CPU ブレードに CRT、キーボード、マウス、CD-ROM などが接続されている場合、CPU ブレードのコンソールを使用して N8403-004 に関連するソフトウェアをインストールできます。以下の手順で各ソフトウェアのインストールを 行ってください。





N8403-004 に関連するソフトウェアのインストール作業は、Administrator 権限のあるユーザ (Administrator など)でログオンして行ってください。



Global Array Manager の Client は、CPU ブレードだけでなくリモートで接続した管理サーバなどへインスト ールできます。上記の CPU ブレード側の環境設定が終了後、対象のシステムヘインストールしてください。 Global Array Manager Client のインストールについては、Express5800 シリーズ Global Array Manager Ver.5.00 インストレーション マニュアル(GAMW2K3.PDF)』を参照してください。

3.2.ターミナルサービスを使用したインストール

CPU ブレードに CRT、キーボード、マウス、CD-ROM などのデバイスが接続されていない場合や、SystemGlobe DeploymentManager Lite を購入していない場合は、ターミナルサービスを使用して N8403-004 に関連するソフトウェアをインストールします。以下の手順で各ソフトウェアのインストールを行ってください。

なお、N8403-004 に関連するソフトウェアのそれぞれのインストール手順は、コンソールを使用した場合と同様です。



ターミナルサービスについては、本体装置に添付されているユーザーズガイドを参照し、あらかじめイン ストールを実施しておいてください。



N8403-004 に関連するソフトウェアのインストールはターミナルサービスクライアントから行います。 ターミナルサービスクライアントの CD-ROM は必ずドライブ文字を設定して共有してください。



終了

3.3.SystemGlobe DeploymentManager(Lite)を使用したインストール

SystemGlobe DeploymentManager または、SystemGlobe DeploymentManager Lite のリモートインストール機能を使用して、 N8403-004 に関連するソフトウェアをインストールできます。以下の手順で各ソフトウェアのインストールを行ってください。



3.3.1.SystemGlobe DeploymentManagerを用いたインストール

Global Array Manager、自動クリーンアップツールのイメージ作成

Global Array Manager、自動クリーンアップツールは、同じ手順でイメージを作成します。アプリケーションの登録ダイアログ "で設定するパラメータのみアプリケーションごとに変更してください。

1. SystemGlobe DeploymentManager を起動します。SystemGlobe DeploymentManage のメニューで[ツール] [イメージ ビルダー作成]を選択します。選択すると、イメージビルダーが起動されます。

DC イメージビルダ・	起動	
	フロッビィディスクイメージ作成(1)	_
**	オペレーティングシステムの登録(<u>0</u>)	
	アブリケーションの登録(<u>P</u>)	
	サービスパック,HotFixの登録(<u>H</u>)	
	セットアップバラメータファイルの作成(U)	
	削除(<u>D</u>) 閉じる(2

2. イメージビルダーから[アプリケーションの登録(<u>P)</u>]を選択し、 アプリケーションの登録」ダイアログボックスを表示します。

フォルダ名(E)	<u>参照(B)</u>
追加されたフォルダ	
zットアップ	

3. イメージを作成するアプリケーションごとに、以下の項目をダイアログボックスに入力します。

Global Array Manager

<u>以下は、Global Array Mnager のインストールイメージをC:¥JPN¥GAM に展開(解凍)した場合の説明です。</u>

```
プログラム名(P)
                      :任意の文字列を指定してください。
フォルダ名(F)
                      : C:¥JPN¥GAM を指定し、[追加(A)]を押してください。
                      : C:¥JPN¥GAM¥SETUP.BAT を指定してください。
セットアップコマンド名(S)
コマンドオプション(M)
                      : GAM.INF と入力してください(GAM.INF は予め以下の通りに作成してください)。
< GAM Server >
  [GAM Server]
  LogPath =Global Array Mnager ログファイルのパス
  ClientIP = ClientのIPアドレス
      :
                :
                     3つまで指定可能です。
  gamroot = gamroot のパスワード
< GAM Client >
  [GAM Client]
  InstallPath = インストール先ディレクトリ
  Name = 氏名
  company = 会社名
```

<u>自動クリーンアップツール</u>

 以下は、自動クリーンアップツールのインストールイメージをC:¥JPN¥CCTOOL に展開(解凍)した場合の説明です。

 プログラム名(P)
 : 任意の文字列を指定してください。

 フォルダ名(F)
 : C.¥JPN¥CCTOOL を指定し、[追加(A)]を押してください。

 セットアップコマンド名(S)
 : C.¥JPN¥CCTOOL¥CCCONSET.BATを指定してください。

 コマンドオプション(M)
 : 自動クリーンアップツールインストール先フォルダ(例 C.¥WINDOWS)を指定してください。

4. [OK]を選択し、イメージをコピーします。

3.3.2.SystemGlobe DeploymentManager Liteを用いたインストール

SystemGlobe DeploymentManager Lite は、BladeServer シリーズのバンドルソフトウェアです。

Global Array Manager、自動クリーンアップツール用イメージ作成

Global Array Manager、自動クリーンアップツールは、同じ手順でイメージを作成します。" サービスパック/HotFix の登録」ダイアログ "で設定するパラメータのみアプリケーションごとに変更してください。

 SystemGlobe DeploymentManager Lite を起動します。SystemGlobe DeploymentManager Lite のメニューで[ツール] [イメージビルダー作成]を選択します。 イメージビルダー」が起動されます。

イメージビルダー
フロッビーディスクのイメージ作成
教会 オペレーティングシステムの登録
アブリケーションの登録
サービスバック/HotFixの登録
セットアップバラメータファイルの作成
登録データの削除
, 閉じる

2. イメージビルダで[サービスパック /HotFix の登録]を選択します。 サービスパック /HotFix の登録」ダイアログボックスが 表示されます。

C サービスバック(P)	HotFix(<u>H</u>)	
		参照(<u>B</u>)
		参照(R)
	ОК	
	C サービスバック(P)	Cサービスバック(P) ・ HotFix(H)

3. 以下の項目をダイアログボックスに入力します。

```
Global Array Manager
```

以下は、Global Array Mnager のインストールイメージをC:¥JPN¥GAM に展開(解凍)した場合の説明です。

```
サービスパック、HotFix 名(N)
                      : 任意の文字列を指定してください。
サービスパック、HotFixの選択(S): [HotFix(H)]を選択してください。
コピー元フォルダ(F)
                      : C:¥JPN¥GAM を指定してください。
                      : C:¥JPN¥GAM¥SETUP.BAT を指定してください。
セットアップコマンド名(S)
コマンドオプション(M)
                      : GAM.INF と入力してください(GAM.INF は予め以下の通りに作成してください)。
 < GAM Server >
  [GAM Server]
  LogPath =Global Array Mnager ログファイルのパス
  ClientIP = ClientのIPアドレス
      :
                :
                     3つまで指定可能です。
  gamroot = gamroot のパスワード
 < GAM Client >
  [GAM Client]
  InstallPath = インストール先ディレクトリ
  Name = 氏名
  company = 会社名
```

<u>自動クリーンアップツール</u>

<u>以下は、自動クリーンアップツールのインストールイメージをC:¥JPN¥CCTOOL に展開(解凍)した場合の説明です。</u> サービスパック、HotFix 名(N) : 任意の文字列を指定してください。 サービスパック、HotFix の選択(S) : [HotFix(H)]を選択してください。 コピー元フォルダ(F) : C:¥JPN¥CCTOOLを指定してください。 セットアップコマンド名(S) : C:¥JPN¥CCTOOL¥CCCONSET.BATを指定してください。 コマンドオプション(M) : 自動クリーンアップツールインストール先フォルダ(例 C:¥WINDOWS)を指定してく ださい。

4. [OK]を選択し、イメージをコピーします。

3.3.3.シナリオの作成

イメージの作成が完了したら、シナリオを作成します。シナリオに作成したイメージをすべて登録してください。